

福岡県解体工事業協会「令和8年新年賀詞交歓会」開く 関係者約100人が新たな年に向けて業界の更なる発展を誓う



解体業界全体の底上げを決意し、和やかに歓談した「令和8年新年賀詞交歓会」

（一社）福岡県解体工事業協会（妹尾晃会長）の令和8年新年賀詞交歓会は21日、福岡市のWITH・THE・STYLE福岡で開催し、協会会員や賛助会員、顧問の国会議員（代理）、福岡市議会議員ら約100人が出席し、新たな年に向けて業界の更なる発展と会員企業の繁栄・飛躍を誓い合った。

交歓会は、小野原賢一常任理事（榊オノケン）の開会宣言に続いて、主催者挨拶に立った妹尾会長（榊妹尾産業）は「昨年は高市政権が発足して、今年に入り衆議院の解散や新



主催者挨拶の妹尾会長

党結成等と社会全体が方向性を模索するような1年の始まりとなりました。解体工事業協会としては、解体工事の底上げを第一に考えて、近隣配慮や環境を含めた解体技術の向上や働く皆さんの賃上げ、会員数を増やす事を念頭に置きながら業界全体の底上げをしていきたい」。また、「一昨年に開催したDeer1グランプリでは全国からも高い評価を受け、今年は11月21・22日にマリンメッセ福岡で開催が決定。来年は神奈川県での開催も決まっております。開催にあたっては、皆様のご支援・ご協力をお願いし、将来的には台湾・韓国等からも参加して頂き、世界大会が出来

ればと考えております。解体工事業のイメージも少しずつ変わってきていると実感しており、業界では人手不足等の問題がありますが、今年一年無事故・無災害を目指して頑張っていきましょう」と挨拶した。

来賓挨拶では、顧問の浜崎太郎議員（福岡市議会）は「来年度の福岡市予算では大混雑している七隈線を4両編成から6両編成へ。警固公園の地下にアジア美術館を新設予定で基本設計に入っていきます。また、子ども食堂の補助や医療的ケアの必要な子供たちの受入体制強化。郵便局でマイナンバーカードを発行。検討課題として姪浜駅に七隈線を伸ばして周回出来るか検討予算がついています。これらが実行されると皆様方の力添えが必要になってきますので、ご協力をお願い致します」と述べた。



来賓挨拶の浜崎市議

また、井上貴博衆議院議員の大谷明治秘書は「皆様方のお仕事は、街並みを更新するという非常に大事な仕事の出発点であり、皆様方の技術力があって福岡市の発展に繋がっていると確信をしております。福岡市は発展する伸びしろがあり、天神ビッグバンや博多コネクティッドだけでは無く、これから皆様方の仕事も出てくると思われます。ただ、人手不足の環境は変わっていませんが、今後は市議の先生方と協力しながら頑張っていきたい」と挨拶した。



来賓挨拶の大谷秘書

このあと、来賓紹介で顧問の田中大士氏、宮川宗一郎議員（福岡県議会議員）代理の宮川セレ氏の紹介があり、国分徳彦氏（顧問）の乾杯の発声で、開宴。賛助会員の古河ロックドリル㈱の新商品紹介、コマツカスタマーサポート㈱の「コマツ決算大商談フェア i n 久留米」の開催案内、九州安芸重機運輸㈱の「燃料減税による今後の対応と今、物流業界で起きていること」の説明などがあり、解体工事業協会の発展と会員と賛助会員ら関係者にとって素晴らしい1年になることを願って、和やかに歓談した。



乾杯の国分顧問